

令和元年度 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 財務諸表の概要

1 財務諸表の概要

(1) 貸借対照表

令和2年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】			【負債の部】	
固定資産	116.8 億円	(+2.4)	固定負債	82.9 億円 (+7.3)
土地	13.8 億円	(▲0.2)	流動負債	31.4 億円 (+0.5)
建物	74.3 億円	(▲5.2)		
建設仮勘定	3.1 億円	(+1.7)		
流動資産	129.7 億円	(▲2.5)		
現金及び預金	97.2 億円	(▲4.6)		
計	246.6 億円	(+0.1)	計	246.6 億円 (+0.1)

(2) 損益計算書

令和元年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純利益を表示

収益総額	190.2 億円 (+1.7)
営業収益	189.3 億円 (+2.4)
営業外収益	1.0 億円 (▲0.4)
臨時利益	0.0 億円 (▲0.3)
費用総額	202.5 億円 (+14.2)
営業費用	190.1 億円 (+9.6)
営業外費用	9.1 億円 (+1.7)
臨時損失	3.3 億円 (+2.9)
当期純損失	▲12.2 億円 (▲12.4)
当期総損失	▲12.2 億円 (▲12.4)

(3) キャッシュ・フロー計算書

令和元年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	5.2 億円 (▲7.5)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲5.9 億円 (▲0.5)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	6.1 億円 (+7.0)
IV 資金増加額	5.4 億円 (▲1.0)
V 資金期首残高	41.8 億円 (+6.4)
VI 資金期末残高	47.2 億円 (+5.4)

(4) 行政サービス実施コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 業務費用	24.1 億円 (+11.9)
(1) 損益計算書上の費用	202.5 億円 (+14.2)
(2) 自己収入等(控除)	▲178.4 億円 (▲2.3)
II 機会費用	0.0 億円 (±0)
III 行政サービス実施コスト	24.1 億円 (+11.9)

※ ()内の数字は前年度との差額を表示

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

2 収支の状況

(1) 収支概要

令和元年度純損失……▲1,224,887千円 → ▲1,249,871千円(対前年度差額)
 (平成30年度純利益……24,984千円)

- ・収益面では、入院及び外来患者数がともに減少したが、入院、外来とも診療単価が増加したことにより、営業収益で2.4億円（前年度比+1.3%）の増加となった。
- ・費用面では、職員数の増加等による給与費及び高額医薬品の購入等による材料費の増加額が大きかったため、全体で14.2億円（前年度比+7.6%）増加した。
- ・費用が収益を上回り、収支差は12.2億円の赤字となり、独法化後初の赤字となった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R1/H30	参 考
収益	171.3	173.7	183.5	188.5	190.2	101%	診療単価 (H30) (R1)
営業収益	169.6	172.8	180.4	186.9	189.3	101%	入院 71,328円 → 71,960円
うち入院収益	109.2	112.4	117.1	119.9	119.7	100%	外来 18,207円 → 19,638円
うち外来収益	46.2	46.2	47.8	50.7	53.7	106%	
うち運営費負担金	9.5	9.4	10.6	11.4	10.9	96%	患者数 (H30) (R1)
営業外収益	1.0	0.9	1.3	1.4	1.0	71%	入院 167,723人→165,889人
うち運営費負担金	0.6	0.5	0.4	0.3	0.3	100%	外来 277,922人→273,058人
臨時利益	0.7	0.1	1.8	0.3	0.0	—	
費用	169.9	172.7	179.0	188.3	202.5	108%	一般病床利用率 (H30) (R1)
営業費用	163.0	165.9	170.8	180.5	190.1	105%	79.7% → 78.8%
うち給与費	82.1	84.2	86.3	91.7	96.4	105%	
うち材料費	41.5	42.9	44.5	47.6	50.7	107%	
うち経費	25.9	25.5	27.2	28.2	28.7	102%	
うち減価償却費	13.0	12.8	12.4	12.6	13.8	110%	
営業外費用	6.8	6.5	7.4	7.4	9.1	123%	
うち支払利息	0.9	0.8	0.7	0.6	0.5	83%	
うち控除対象外消費税	5.9	5.7	6.4	6.4	8.3	130%	
臨時損失	0.1	0.3	0.8	0.4	3.3	825%	
収支差	1.4	1.0	4.6	0.2	-12.2	-	

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

うち入院収益 (0.2億円減) 診療単価は増加したが、患者数の減少によるもの
 うち外来収益 (3.0億円増) 診療単価増加によるもの

イ 営業費用

うち給与費 (4.7億円増) 職員の増加によるもの
 うち材料費 (3.1億円増) 高額医薬品等の購入によるもの
 うち経費 (0.5億円増) 代務医にかかる報償費の増加によるもの

ウ その他

臨時損失 (2.9億円増) 中央診療棟の解体におけるアスベスト除去費用の計上